

農村発イノベーション推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内（一部外）	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額、1/2、1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業を契機として来県者の増加が見込まれるが、県内農村部へ誘客するための魅力的なコンテンツ整備や誘客システムの構築が弱い。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2022～福井県～ 宿泊旅行の目的「各種体験（手作り、果物狩りなど）」1. 8% 農業生産関連事業体数 全国38位						
[事業目的] 農林漁業者と多様な事業者の連携を促し、農林水産物等の農村資源を活用した加工や体験等のコンテンツ強化を進めることで農村全体の魅力を高め、農村への誘客を促進する。												
[事業内容] 1 魅力あふれるコンテンツの強化 ①農村の魅力向上へのチャレンジ支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/3） ②魅力ある加工・体験・滞在施設等の整備支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/3） 2 農村への誘客システムの構築 ①農遊スタンプラリーの実施、PR 3 農遊コンシェルジュの強化（交流会・研修会） 4 ふくいローカルフードプロジェクト ①農村資源を活用した新規ビジネス創出の支援 ②参加事業者による新ビジネス実施補助（実施主体：農林漁業者等、補助率：定額） 5 新たな需要等に対応した商品開発支援（実施主体：市町および農林漁業者等、補助率：定額又は1/2） 6 農村資源を活用する事業者へのプランナー派遣 7 6次産業化事業者の販路開拓支援 ①都市圏でのバイヤー向け商談会への出展 ②県外での新規取引開拓支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/2）												
[受益者] 農村発イノベーションに取り組む事業者						[想定される受益者数] 体験コンテンツ提供事業者：517、6次産業化に取り組む事業者：179						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 6次産業化推進事業/農遊促進事業 (実績) ・6次産業化推進事業による新商品販売額は4.6億円、新商品開発数は296件となり目標を達成した。 ・農遊促進事業により、令和3年度から交流人口が56万人増加した。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		○新潟県：6次産業化はじめる・ひろげる総合支援事業等 ○富山県：6次産業化とやまの魅力発信事業 県が事業主体となり、田舎暮らし体験メニューを実施等 ○石川県：いしかわ百万石マルシェ事業（首都圏での販売会） 地域資源を活用したイベント実施や滞在メニュー開発支援等				

農村発イノベーション推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内（一部外）	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						
補助率	定額、1/2、1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	59,697	18,596		繰入金 3,556	37,545		■国庫：農山漁村振興交付金、地方創生推進タイプ、中山間地農業ルネッサンス、地域食品産業連携プロジェクト ■繰入金：中山間地域土地改良施設等保全基金事業					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						59,697						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	交流人口の拡大 (目標) 実績					(197)	(225)	(250)	・R4交流人口実績：169万人→R5交流人口（見込）183万人 ・年間約14万人増を目標			
活動指標	新規コンテンツの増加数 (加工品、体験、農家民 宿、農家レストラン等) (目標) 実績					(14)	(39)	(60)	・平均12件/年×5年=60件 増加			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

農村RMO形成推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、地域協議会等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 中山間地域では、高齢化・人口減少で農業生産活動のみならず、集落維持に必要な機能が弱体している。そのため、農家と非農家等住民が一体となって集落機能を補完する農村型地域運営組織による地域コミュニティ機能の維持・強化が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・中山間地域の担い手の声(アンケート結果)地域体制構築の支援要望 30% ・中山間地域の担い手の声(アンケート結果)農村RMO活動の支援要望 35%						
[事業目的] 中山間地域等において、農村集落の機能を補完する農村型地域運営組織の形成により地域で支え合うむらづくりを推進するため、伴走支援体制の構築や農村RMOのきっかけとなる活動への支援、地域協議会等が作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用及び生活支援にかかる調査、計画作成、実証等を行う。												
[事業内容] ・事業内容 ○農村RMO形成伴走支援 伴走支援体制の構築や農村RMOのきっかけとなる活動への支援 ○農村RMOモデル形成支援 将来ビジョンの策定、ビジョンに基づく調査、計画策定、実証事業等の取り組みを支援 補助対象：市町、地域協議会等 補助率：定額												
[受益者] 中山間地域の農業者						[想定される受益者数] 1,053集落						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	市町と連携して地域協議会等へ支援することで、市町が、伴走支援体制を構築し、地域協議会等が農村RMOに取り組みやすくなる。				他県の状況	令和4年度農村型地域運営組織形成推進事業取り組み数 全国で28件 富山県 1件 釜ヶ淵みらい協議会(富山県立山市) 石川県 2件 能登島地域づくり協議会(石川県七尾市) 鋤内ふるさと協議会(石川県七尾市)						

農村RMO形成推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一					
事業主体	県、市町、地域協議会等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,881	5,881				農村漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						5,881										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	農村型地域運営組織モデル形 成支援数 (目標) 実績					(2)	(4)	(6)	R5 0件 → R8 6件 (R10 10件)							
活動指標	農村型地域運営組織形成 伴走支援数 (目標) 実績					(5)	(10)	(15)	R5 0件 → R8 15件							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「福井百歳やさい」魅力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一		
事業主体	営農集団等				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助												
補助率	1/2												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題] 「福井百歳やさい」を継承・発展させていくためには、消費者や生産者に、魅力を伝え、その価値を理解してもらう必要がある。そのためには、直売所等への出荷を促進させ、県民のみならず、新幹線開業を機に増える観光客に注目されるような取り組みが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井百歳やさい17品目の販売額の推移 H29 36,500千円 → R5 46,950千円							
[事業目的] 県民や観光客に「福井百歳やさい」の魅力が十分に伝わるよう、直売所等における出荷促進や加工品の開発、PR促進等を支援して、「福井百歳やさい」を継承・発展させる。													
[事業内容] ○県内直売所等での魅力向上支援 事業実施主体 営農集団等 補助率 1/2 補助内容 出荷促進支援、加工品開発支援、伝統野菜を広くPRなど、直売所等での魅力向上につながる活動を支援													
[受益者] 福井百歳やさい生産者						[想定される受益者数] 152戸 (16品目)							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 次世代へつなぐ伝統やさい支援事業 (実績) ・福井百歳やさいの販売額拡大 17品目販売額 10%拡大 42,700千円 (R2年度) → 46,950千円 (R5年度)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統地場農産物等原種供給事業 (役割分担) 伝統地場農産物等原種供給事業：伝統野菜の種子の保存・供給					
市町との連携状況		・小中学校の児童生徒を対象に「百歳野菜」を使用した学校給食を提供し、食育の題材として活用 ・市町のイベント等で普及活動を推進				他県の状況							

「福井百歳やさい」魅力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一					
事業主体	営農集団等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,230					1,230										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						1,230										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	直売所等への販売額増加 (百万円)	(目標)				(11)	(13)	(15)	R5年度 9,300千円 → R8年度 15,000千円							
		実績														
活動指標	支援団体数	(目標)				(7)	(10)	(16)	福井百歳やさいを栽培する営農集団等に対する支援							
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

米粉普及拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一			
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境 計画、第4次ふくいの食育・地産地消推進計画]							
[解決すべき問題・課題] 農家は、主食用米の生産量は割当が決められており、増産できない。収益増加のためには、転作に取り組む必要がある。米粉加工用米の生産にあたり、実需者と契約を得たい。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年度主食用米生産目安減少：6万t減少 令和5年度生産面積減少：80ha減少								
[事業目的] 米粉商品開発の支援や、米粉の低コスト化に向けた新規導入品種の選定、事業者への米粉特性の周知等により米粉普及拡大に取り組むことで、農家の加工用米の増産とそれに伴う所得向上に貢献する。														
[事業内容] ○米粉を活用した商品開発の支援 ①米粉をテーマとした新規ビジネスの支援 研修会、戦略会議の開催 ふくい米粉統一ブランドPR 県産米粉の特性分析支援 ②米粉商品開発にかかる経費の補助 ○米粉加工用米の品種選定 ③米粉加工用米品種の栽培試験														
[受益者] 県内米生産者、県内食品加工業者						[想定される受益者数] 9,179経営体、200社								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況		新潟県産米粉及び米粉製品プロモーション事業 山形県米粉利用助成事業						

米粉普及拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,872				2,872							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					13,093	2,872	ふくいローカルフードプロジェクト(国庫ソフト)の別事業へ移管による減					
2月現計予算額の推移					10,640							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	米粉新商品開発数(個) (目標) 実績			2	(2) 2	(4)	(6)	(10)	米粉商品開発の補助および米粉特性指標の作成により、米粉の新商品開発数の増加を見込む。(R4年度にLFPで村中甘泉堂により2商品開発済)			
活動指標	新規米粉用加工米生産者 増加 (目標) 実績				-	(3)	(3)	(5)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
米粉新商品開発数については2商品が開発され、目標を達成。				継続した米粉新商品開発を支援し、新規米粉用加工米生産者の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 10,221	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

さかほまれ酒米生産量拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一			
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境 計画、第4次ふくいの食育・地産地消推進計画]							
[解決すべき問題・課題] JAと酒造組合、県で方針の意志すり合わせがなく、増産の方針が決まっていない。 依然、流通量が少なく市場に定着した商品とは言えないため、継続したPRが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 「さかほまれ」はR2年に3万本、R3年に6万本、R4年に9万本と、まだ流通量が少 ない。R2年初頭からのコロナ禍においてPRができていない。								
[事業目的] さかほまれ戦略会議による生産支援と福井県酒造組合が実施するPRの支援により、さかほまれ酒米の生産者数の増加およびさかほまれ酒米の消費量の増加を図 り、さかほまれ酒米農家の所得向上を目指す。														
[事業内容] ○さかほまれ酒米生産増加・品質向上 ・さかほまれ栽培戦略会議の開催 ・課題解決のため専門家派遣 ○飲食店さかほまれ地酒活用促進 ・飲食店向けさかほまれの現場を学ぶセミナーの開催 ○さかほまれ地酒PR ・酒類業者が行うさかほまれPRに係る経費の補助 (実施主体：酒類事業者 補助率 1 / 3)														
[受益者] 県内酒米生産者、県内酒造場						[想定される受益者数] 600名、30社								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況		○石川県 大吟醸用酒米の市場デビューによる地酒のブランド価値向上 ・新たな酒米の愛称・ロゴマークの公募 ・イベント実施による新たな酒米のPR ・酒米生産体制の強化						

さかほまれ酒米生産量拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一		
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/3												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,799				1,799								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					2,211	1,799	商品開発の補助を廃止したことによる減						
2月現計予算額の推移					1,241								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	さかほまれ酒米生産量 (t) (目標) 実績				(140) 105	(160)	(160)	(180)	さかほまれ地酒の醸造量増加に伴い、酒米生産量の増加を見込む。 (R10年度目標：300t)				
活動指標	さかほまれ使用酒造場数 (社) (目標) 実績				(21) 19	(23)	(23)	(25)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
さかほまれ酒米生産量は、作付け面積が増加した一方で、猛暑の影響により収量が少なく、生産量が105tとなった。 さかほまれ使用酒造場数は、さかほまれ使用蔵の廃業等の理由により19蔵にとどまった。				さかほまれの生産量および使用酒造場数の増加とに向け、生産者および酒造組合員が参加する栽培戦略会議を実施し、生産量が伸び悩む課題とその解決のために必要な協議を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	412		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

中山間総合対策支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一			
事業主体	県、市町、営農集団等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	県営、補助													
補助率	定額、県 1/3、1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]							
[解決すべき問題・課題] 中山間地の農地は法面が急傾斜のため維持管理作業は危険で負担が大きい。 また、これまで集落営農や大規模農業者を担い手としてきたが、中山間地域の 農地を守るには十分な担い手数が確保できていない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・5年後の農業の担い手が確保された中山間集落数 (アンケート結果) R2 586集落/1,013集落 ・中山間地域の担い手の声 (アンケート結果) 草刈り等の作業応援・省力化支援要望56%								
[事業目的] 中山間地域等の農村に人が住み続けるために、中山間地域の多様な担い手の育成および営農活動を支援する。														
[事業内容] ① 中山間地域の新規担い手支援 補助対象者：営農集団等 補助率：1/3 (条件不利地1/2) ② ICT等活用による中山間地域営農の超省力化推進 補助対象者：営農集団等 補助率：1/2 ③ 農業サポートセンターを核とした中山間の営農を継続させる体制づくり (1) 条件不利地の農作業受委託促進 補助対象者：農業者等 補助率：定額 (2) 農業サポートセンターの活動支援 補助対象者：農業サポートセンター 補助率：1/2 (3) 農業サポートセンターの機能強化に係る人件費支援 補助対象者：市町 補助率：1/2 (4) 農業ねこの手クラブの会員募集														
[受益者] 中山間地域の農業者						[想定される受益者数] 中山間地域の農家 10千戸								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 中山間集落農業支援事業、中山間営農継続支援事業 (実績) ・中山間地域の集落合意形成を促進し、小規模な水田農業機械・園芸施設等の整備を支援 ・除草ロボやドローン等の導入を支援 ・中山間地域における農作業支援活動を支援				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・各市町が農業サポートセンターを運営し、中山間地域の営農相談ワンストップ窓口として機能させる。				他県の状況		岐阜県 ①中山間地域等担い手育成推進事業 中山間地域の集落営農の体制づくり等に向けた地域の合意形成を支援 事業主体：市町村、農業者組織等 補助率：定額 (上限200千円) ②中山間地域等担い手育成支援事業 中山間地域における集落営農組織に必要な農業機械施設の整備を支援 事業主体：設立または営農開始後2年以内の集落営農組織 補助率：1/2以内 (上限5,000千円)							

中山間総合対策支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一					
事業主体	県、市町、営農集団等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	県営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額、県 1/3、1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	159,891				159,891											
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				170,965	176,919	159,891	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助事業の見直しによる減 ・ 農業サポートセンター補助等の縮減 									
2 月現計予算額の推移				161,718	162,539											
決算額の推移				151,330												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ■ R5 年度 ・ 条件不利地の農作業受委託促進要望の増による増 ・ ねこの手クラブ会員募集にかかるPR費用の増 															
[成果指標等の推移]																
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	農業の後継者が確保され た集落数 (目標) 実績			(633) 637	(675) 集計中	(717)	(717)	(800)	R3 591集落/1,030集落 → R8 800集落/1,030集落							
活動指標	集落戦略作成数 (目標) 実績			(633) 637	(675) 集計中	(717)	(717)	(800)	R3 591件 → R8 800件							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価								
(R5年度見込み) 農業の後継者が確保された集落数 42集落 集落戦略作成数 42集落				引き続き、中山間地域の多様な担い手の育成および営農活動を支援する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	17,028					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

里山里海湖ビジネス実践力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等	[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境 計画、北陸新幹線開業プラン]						
[解決すべき問題・課題] 農山漁村では、食材の地域資源や人々の暮らし方など魅力的な資源が存在するが、十分な活用がされていない。そこで、そのような魅力ある資源を活用した農家民宿や農家レストランによる農家所得向上のため、実践者の掘起しや実践者の抱える課題解決の支援が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 魅力度 全国順位37位 (2019年)						
[事業目的] 里山里海湖ビジネス研修を強化し、ビジネス実践者の掘り起こしを行うとともに、農村資源を活用した地域づくりにおける実践者の課題を解決することで農家所得の向上を図る。												
[事業内容] ○里山里海湖ビジネス実践者の掘り起こし 農家民宿や農家レストラン開業に必要な衛生管理や来客者増加に向けた研修に加えて、農家民宿や農家レストラン等における体験交流の軸となる人材を育成する研修の実施 【対象者】 農家民宿、農家レストラン開業希望者、農家民宿等の協力希望者 ○里山里海湖ビジネス実践者の課題解決を支援 課題解決コース：ビジネスの実践者の課題解決に向けて、専門家の派遣を行う 【対象者】 ビジネス実践者												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな農業ビジネス創出事業 (実績) 里山里海湖ビジネスを担う人材育成のための研修を実施し、のべ191人が受講し、うち16人が新規開業した。					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 都市農村交流促進事業 (役割分担) 受入体制の強化として、体験講座の開催を実施。				
市町との連携状況	ビジネス実践者の課題解決方針を市町に報告し、市町の地域づくり方針とのすり合わせを実施。					他県の状況		【石川県】 ○滞在メニュープロデュース講座 農家民宿やレストラン等の経営者、農林水産業者、料理人を対象に、里山里海の魅力を伝える滞在メニューを作る人材を育成。				

里山里海湖ビジネス実践力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,358	1,800		557	1,001	農山漁村振興交付金(1,800千円) ふるさと水と土保全基金事業(329千円) 諸収入(228千円)						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		12,519	7,738	5,049	4,687	3,358	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山里海湖ビジネス研修の実施回数の見直しによる減 ・ 課題解決コースの実績に基づく減 					
2月現計予算額の推移		7,965	6,870	5,049	4,687							
決算額の推移		6,546	6,041	4,505								
前年度までの 主な増減理由	R2：里山資源活用サロンコースの新設 R4：課題解決コース派遣回数および支援体制の見直し 農家民宿コース、農家レストランコースの講座実施回数の見直し											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農家レストラン、農家民宿の新規開業件数	(240) 実績 240	(245) 245	(256) 259	(267) 集計中	(278)	(278)	(330)	農家レストラン76軒 農家民宿254軒			
活動指標	里山里海湖ビジネス研修受講者	(90) 実績 180	(85) 196	(80) 218	(80) 190	(200)	-	-	里山里海湖ビジネス研修200名			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
実践研修を開催したことから成果指標、活動指標は達成した 農家民宿コース 10名 農家レストランコース 9名 課題解決コース 11名 里山資源活用サロンコース 160名				<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家民宿コース、農家レストランコース、里山資源活用サロンコースの統合 ・ 課題解決コースの派遣回数の縮小 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,329	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

都市農村交流促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体		(公社) ふくい農林水産支援センター			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境 計画、北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線の開業等により、観光での来県者の増加が見込まれるが、農村部では人口減少や高齢化の進展に伴い、受入体制づくりが課題となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県の人口動向と将来見通し(令和2年改訂版) 福井県人口: 82.9万人(2000年)→78.7万人(2015年)→64.7万人(2040年) 福井県高齢化率(65歳以上): 25%(2010年)→37.2%(2040年)						
[事業目的] 新幹線開業後の誘客を促進するためには、農山漁村滞在型旅行「農泊」を中心にして、交流拡大を図る必要がある。このためには、全県的な組織である「ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク」の連携を強化し、都市農村交流員とともに核となり、県の農泊の魅力を効果的に発信する取り組み、体験イベントを軸とした受入体制づくり、誘客に向けたコーディネート、研修会等、農泊をさらに拡大する取り組みを行うことで、交流拡大を図る。												
[事業内容] ①情報発信の強化 ・都市農村交流員の設置・活動費等 ②受入体制の強化 ・受入農家等に対する研修会、ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク事務局の設置および運営等												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 都市農村交流推進事業 (実績) ・業務委託による情報発信、受入農家に対する研修会開催、ふくいエコ・グリーンツーリズムネットワーク事務局設置・運営 ・農家民宿開業 36軒(H30~R4)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 里山里海湖ビジネス実践力強化事業 (役割分担) ・里山里海湖ビジネス実践力強化事業 里山里海湖ビジネス実践者の支援				
市町との連携状況		・ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワークに各市町が参加しており、情報を共有している				他県の状況		富山県 グリーンツーリズムに関する普及啓発、人材育成、情報収集・提供等をNPO法人へ委託 石川県 グリーンツーリズムに関するパンフレットおよびガイドマップの作成・配布を公益財団法人へ委託				

都市農村交流促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	(公社) ふくい農林水産支援センター				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,886			(繰入) 13,886	0	中山間地域土地改良施設等保全基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		13,784	13,788	13,896	16,616	13,886	・R5年6月補正にてふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワークのホームページ改修実施(2,772千円)しており、令和6年度は当該予算額程度が減。					
2月現計予算額の推移		13,784	13,788	13,896	16,616							
決算額の推移		13,784	13,788	13,896								
前年度までの 主な増減理由	H28：外部人材を活用した里山里海湖ビジネスモデルコースへの指導・助言を実施 H29：前年度の外部講師の指導・助言をもとに職員が対応 H30：エコグリーンツーリズムにかかるパンフレット作成部数の減 R1：農家民宿開業支援件数の減 R2：農家民宿開業支援の廃止およびふくいエコ・グリーンツーリズムにかかるパンフレット作成部数の減 R3：通勤手当の増 R4：雇用保険料の増 R5：ふくいエコ・グリーンツーリズムのホームページ改修											
[成果指標等の推移]												
区分		令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農家民宿新規開業件数 (目標)	(5)	(5)	(5)	(8)	(8)	(25)	(35)	農家民宿新規開業件数 目標35件 (R8までに累計254件、以降5件/年開業)			
	実績	12	5	7	集計中							
活動指標	農家等を対象とした受入研修会回数 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(6)	(10)	農家等を対象とした受入研修会開催回数 10件			
	実績	2	3	2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
活動指標である農家等を対象とした受入研修会回数は目標を達成した。成果指標である農家民宿新規開業件数については、集計中。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,730	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいワイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/3 (委託醸造)、1/10 (ワイナリー整備)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等						[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]	
[解決すべき問題・課題] 平成30年度からふくいワインカレッジを開講しているが、ワイン生産を始めた受講生はまだ2件しかない。(R5見込)						[問題・課題を表す客観的データ] ・ワイナリー開業者数 1人 ・ワインぶどう栽培者数 11人 ・委託醸造者数 1人 (R4)						
[事業目的] 県産ワインの生産者を育成するとともに、委託醸造およびワイナリー整備にかかる費用を支援することで、県産ワインの生産拡大を図る。												
[事業内容] 1 研修事業 ①実践コース【対象者】福井でワイン生産を希望する者 ・ワインブドウ栽培研修：研修生自らが専用の圃場を管理する実践的な技術研修 ・ワイン醸造研修：県内のワイナリーで自らのタンクを管理し、実践的な醸造経験を積む研修 ・座学研修：ワインブドウ栽培やワイン醸造の第一人者を講師に招き、栽培・醸造・販売の知識や技術を習得する研修 ②教養コース【対象者】県内在住者でワインの知識を深めたい者 ・実践コースの座学研修の一部を公開講座として実施 2 ふくいワイン生産拡大事業 ①ぶどうの収量が少ない植付3年目、4年目の委託醸造費の補助 補助対象：ワインカレッジ修了生 補助率：1/3 補助内容：ふくいワインの委託醸造 ②ワイナリー整備にかかる費用の補助 補助対象：ワインカレッジ修了生、ワイン生産において一定の技能を有する者 補助率：1/10 補助内容：ふくいワイン生産のためのワイナリー整備												
[受益者] ふくいワインカレッジ研修生						[想定される受益者数] 毎年30人程度						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) ・醸造の担い手を育成するための研修プログラムの策定					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) ・研修生の誘致や研修終了後の就農支援の実施				
市町との連携状況	・ブドウ栽培やワイナリー開業希望者に対して、農地や物件等を斡旋					他県の状況		長野県：「ワイン生産アカデミー」 実施主体 県 研修期間 4か月 (全7回) 受講料 5,000円 募集人数 30名 塩尻市：「塩尻ワイン大学」 実施主体 市 研修期間 4年間 受講料 30,000円/年 募集人数 20名 山梨県：「やまなし醸造用ブドウ栽培セミナー」 実施主体 県 研修期間 9か月 (全8回) 受講料 無料 募集人数 20名				

ふくいワイン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/3 (委託醸造)、1/10 (ワイナリー整備)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,899	4,437		諸収入 420	1,042	・中山間地農業ルネッサンス推進事業交付金 ・(諸収入) 研修受講料							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		5,911	5,589	6,499	5,658	5,899	・醸造実習にかかる資材費の高騰による増						
2月現計予算額の推移		5,911	5,589	11,888	5,658								
決算額の推移		5,277	4,234	11,113									
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 醸造機器導入の完了による減 令和3年度 栽培機械導入の完了による減 令和4年度 ワインカレッジ修了生に対する委託醸造にかかる費用の補助制度新設による増 令和5年度 ワインカレッジ研修内容見直しによる減												
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新規県産ワイン醸造本数 (目標)	(800)	(800)	(2,800)	(4,900)	(17,250)	(17,250)	(95,000)	修了生および受講生が生産したワインの本数				
	実績	559	374	1,847	3,293								
活動指標	ワインカレッジ研修受講者 (目標)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	-	-	実践コース20名(1年生10名、2年生10名)+教養コース10名(H30~R3) ワイナリー開業コース20名(1年生10名、2年生10名)+ワインブドウ栽培コース10名				
	実績	20	28	14	10								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・新規県産ワイン醸造本数 3,293本(修了生3,091本、受講生202本) 猛暑や病虫害によるブドウの収量が減少したため、結果的に、修了生、受講生ともに、県産醸造本数が減少する結果となった。 ・ワインカレッジ研修受講者については、受講しやすいカリキュラム体制等を検討しながら、次年度以降、研修受講者数を増加させていく必要がある。				猛暑対策や防除方法等を検討し、収量増加、醸造本数が増加につながるようにしていきたい。また、ワインカレッジの研修内容や日数等、受講しやすいカリキュラムになるよう検討し、研修受講者の増加に努めていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

畜産獣医師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	中央畜産会、県畜産協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R18 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1 / 2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[福井県獣医療計画、福井県長期ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 毎年、獣医系大学の卒業生が全国で約1,070名いる中で、公務員への就職を志望する学生は2割程度。そのうち、福井県を志望する学生はごくわずかで、募集人数に対する採用者数は毎年、定員割れの状態。自己都合での早期退職者もいるため、獣医師の数は年々減少し、年齢構成に偏りがあり、獣医療の技術継承が困難になっている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・農林水産部獣医師正規職員数の減少：H28 26名、R2 20名 ・獣医師の年齢構成に偏りがある（令和3年4月現在）：25～29歳2名、30～34歳4名、35～39歳0名、40～44歳2名、45～49歳6名、50～54歳5名、55～59歳1名						
[事業目的] 将来、福井県の畜産獣医師として一定期間勤務することを条件に、全額返還免除型の修学資金を学生に対して給付することで、近年、必要定数を確保できていない獣医師職員を確保することを目指す。												
[事業内容] 1. 高校生向け修学金給付 ・内 容：大学進学にかかる費用（入学金、1年次前期授業料、実習費等）の給付 ・募集人数：1,750千円×1名 ・補助率：国1/2、県1/2 2. 獣医学生向け修学金給付(4～6年生) ・内 容：私立大学生月額180千円以内、国公立大学生月額100千円以内 ・募集人数：2名 ・補助率：国1/2、県1/2 3. PR事業 ・内 容：事業内容広報パンフレット等作成 ・事業費：20千円 ・補助率：県10/10												
[受益者] 獣医系大学に入学する高校生および在学する獣医学生						[想定される受益者数]			高校生1名、獣医学生2名			
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況			○高校生向け修学金給付（全国10道県） 対 象：獣医学系大学に進学する高校3年生 補助率：国1/2、県1/2 ○獣医学生向け修学金給付（全国24県） 対 象：1～6年生（各県により募集学年が異なる） 補助率：国1/2、県1/2			

畜産獣医師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	中央畜産会、県畜産協会				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R18 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務						
補助率	1 / 2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,215				5,215	獣医療提供体制整備推進総合対策事業						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				3,055	5,215	5,215						
2月現計予算額の推移				3,055	3,152							
決算額の推移				638								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農林水産部獣医師正規職員数(名)			(20) 20	(21) 23	(23)	(26)	(28)	新卒獣医師を定期的に確保し、最終的に正規職員獣医師を28名以上確保する。			
活動指標	高校生向け修学資金給付(事業活用)			(1) 1	(1) 0	(1)	(1)	(1)	県内の高校から高校生向け修学資金給付の利用者を毎年1名ずつ確保し、定期的に新卒獣医師を確保する。			
	獣医学生向け修学金給付(事業活用)			(2) 0	(2) 1	(2)	(2)	(2)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
高校生向け修学資金給付(事業活用) 0名 獣医学生向け修学金給付(事業活用) 1名								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい農林水産グルメイベント開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一		
事業主体	福井県					事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]					関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
ふくいポークは県内での豚熱の発生により生産がなくなり3ヶ年が経過。強い要望を受け続け、今回生産が再開される。新幹線開業のタイミングもあり、ふくいポークの復活の広報に併せてその他福井県産ブランド全体の知名度を向上させることで需要を増加させる必要がある。						若狭牛 生産額 7.1億円 ふくいポーク 3ヶ年出荷0頭 生産額 0円 福地鶏 生産額 0.39億円							
[事業目的]													
ふくいポークの生産再開を周知するためにふくいポーク復活イベントを開催し、併せて若狭牛、福地鶏の県内知名度向上を目指し、新幹線開業に備える。新幹線開業後は継続して関連イベント等でのPRを行い、来県者等の購買意欲を高めることにより、畜産物の需要を増加させる。													
[事業内容]													
【新幹線開業に向け、県産畜産ブランドの認知度を向上させることより生産額の増加を目指す。開業後は来県者に対する認知度向上を目指す。】													
<ol style="list-style-type: none"> 1. 福井県産ブランド味わい祭り <ul style="list-style-type: none"> ・ふくいポークの再販売を大きく取り上げ、待ち望んでいた県民への周知を図る ・福井県産畜産物である若狭牛・ふくいポーク・福地鶏の3種を併せて周知することにより購買意欲を高める 2. ふくい食と農の博覧会 <ul style="list-style-type: none"> ・福井県産品、食に興味のある県民を対象とした畜産物のPR ・ふくいポーク、若狭牛試食による食味の周知 ・福地鶏生産物の販売による周知 3. 市町、新幹線開業課のイベントへの参加によるPR 4. 県産畜産ブランド販促品作成 													
[受益者] 畜産農家、イベント来場者						[想定される受益者数]			畜産農家:73戸、イベント来場者:約5,400人				
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	新幹線イベント等へのパンフレット、チラシの設置					他県の状況			石川県 能登牛販売促進PR事業 予算額 14,240千円 ・消費拡大キャンペーン事業 県内イベントを通じて販売促進(7,000千円) ・首都圏販路開拓事業 銀座アンテナショップでの試食会など(7,000千円) ・パンフレット等(240千円)				

ふくい農林水産グルメイベント開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	福井県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,105				7,105							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				7,264	7,105	イベント内容の変更						
2月現計予算額の推移				7,264								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	若狭牛生産額(億円) (目標) 実績	7.1	7.1	7.3	(7.1) 未集計	(7.1)	(1)	(8)				
	ふくいポーク生産額(億円) (目標) 実績	0.0	0.0	0.0	(0.2) 未集計	(0.2)	(0.7)	(1.0)				
	福地鶏生産額(億円) (目標) 実績		0.39	0.43	(0.43) 未集計	(0.43)	(0.44)	(0.45)				
活動指標	PR、フェア等件数 (目標) 実績					(5)	(3)	(1)	新幹線開業の5年度および開業直後の6年度は主体イベントを福井駅前 前で実施。他、他課主催イベントの参加。市町イベントでの参加。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
ふくいお肉の祭典としてふくい農林水産グルメイベント共催(同日開催) 来場者1日目600人、2日目2400人(計3,000人)				県産ブランド畜産物PRイベントを単独開催(R6.7月頃予定)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	159	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭牛安定供給体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等	[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]						
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業後の需要増に向けて、若狭牛の増頭が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・ R3年度 若狭牛出荷頭数 567頭 ・ 北陸新幹線敦賀開業による増加入込数 785千人/年						
[事業目的] 和牛受精卵移植の利用拡大や、子牛の哺育・育成を担うキャトルステーションの整備等の若狭牛の生産拡大戦略により、安定供給体制を構築する。												
[事業内容] (1) キャトルステーション整備事業 ○キャトルステーション実施設計 ○受精卵採卵用繁殖雌牛の増頭												
[受益者] 畜産農家						[想定される受益者数] 酪農、肉用牛農家：49事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若狭牛・高能力乳牛導入支援事業 (実績) TPPに対応するため、収益性の低い畜種から若狭牛や高能力乳牛へと畜種の転換を推進					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	キャトル・ステーション整備推進事業 (滋賀県) 滋賀県産の肥育素牛の安定供給のための生産構造の構築を図るため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設を整備する。 能登牛1000頭体制整備事業 (石川県) 能登牛を増頭するための支援 繁殖雌牛100千円/頭、肥育牛54千円/頭 長崎和牛肥育素牛導入事業 (長崎県) 増頭による規模拡大を行う農業者の肥育素牛導入に係る経費の一部を助成 50千円/頭					

若狭牛安定供給体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	27,032				27,032	・一般単独事業債、行政改革推進債						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					21,254	27,032	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷拡大促進事業（農家の子牛導入支援）を廃止 ・キャトルステーション整備事業として設計費用を計上 					
2月現計予算額の推移					21,254							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	若狭牛出荷頭数 (目標) 実績	559	567	(600) 612	(640)	(640)	(720)	(800)	中間目標 R8年 最終目標 R10年 新幹線開業等で増加する観光客入込数 約80万人の 1/2の40万食分の増頭 (=200頭)			
活動指標	若狭子牛導入補助頭数 (目標) 実績			(40) 40	(40)	40			補助頭数年間 40頭			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
若狭牛出荷頭数：600頭（見込み） 若狭子牛導入補助頭数：40頭 飼料価格高騰や販売価格の下落を受け、若狭牛の出荷頭数が減少したため、出荷頭数は成果指標を達成することができなかった。				<ul style="list-style-type: none"> ・出荷拡大促進事業（農家の子牛導入支援）を廃止 ・キャトルステーション整備事業として設計費用を計上 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

意欲あるふくいの畜産支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	畜産農家等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	1/3、2/3、定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等			[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]				
[解決すべき問題・課題] 県産ブランド畜産物の維持のためには、県外企業の誘致や既存農家に対する規模拡大支援が必要。また、飼料高騰に対応するための支援が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ] 畜産農家戸数の減少：H15 164戸、H31 84戸、R4 73戸 高齢かつ後継者無しの畜産農家：28戸(平均年齢 69.0才) 輸入乾牧草価格：R3 60円/kg⇒R4 100円/kg						
[事業目的] 県産ブランド畜産物の生産拡大のため、大規模経営体の育成と企業の誘致を進めるとともに、ICT関連機械等の導入を支援し、省力化・効率化を図る。また、飼料高騰対策として、自給飼料生産拡大に係る機械導入を支援し、輸入に頼らない持続可能な畜産経営を目指す。												
[事業内容] 1. 大規模畜産施設整備に対する支援(国庫活用枠) <ul style="list-style-type: none"> <県内農家規模拡大> <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：飼養頭数 若狭牛100頭以上、乳用牛40頭以上、ふくいポーク600頭以上 補助率：国1/2、県1/6 <県外企業誘致(施設整備)> <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：本県のブランド畜産物を生産すること 補助率：国1/2、県1/6 <生産奨励> <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：事業採択年度の1年に限り、県産ブランド畜産物にかかる家畜導入経費(増頭分)を対象とする 助成額：素牛6万円/頭、繁殖豚1万円/頭 <県外企業誘致(U・Iターン雇用)> <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：U・Iターン者を雇用すること 助成額：50万円/人 2. 県産ブランド畜産物の経営規模拡大に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：県産ブランド畜産物の飼養頭羽数を1割以上増やすこと 補助率：県1/3(補助上限 12,000千円) 3. 自給飼料生産拡大に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：自給飼料生産量を拡大すること、飼料生産組織等の場合は県内農家に販売すること 補助率：県1/3 4. ICT関連機械の導入に伴う施設整備等を支援 <ul style="list-style-type: none"> 補助要件：生産コストの削減もしくは労働時間の短縮が図られること 補助率：県1/3(補助上限 4,000千円) 												
[受益者] 畜産農家等						[想定される受益者数] 畜産農家 73戸、飼料生産組織 5戸						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 畜産経営基盤強化支援事業 (実績) 施設の老朽化や過重労働を解消し、畜産農家の規模拡大や経営継承を実現					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	補助事業者は原則市町とし、事業の要望調査も市町と連携して行う。					他県の状況	○強い畜産構造改革支援事業(岐阜県) 全畜種対象 補助率：新規就農支援型 1/3、担い手育成支援型 1/4 ・担い手確保、生産基盤強化を推進する取組みに対し、必要となる生産基盤整備に要する経費を補助。 ○乳用後継牛育成支援事業(富山県) 対象：酪農 補助率：1/3 ・後継雌子牛の哺育、育成に必要な施設等の整備に要する経費を補助。 ○能登牛ブランド力強化事業(石川県) 対象：能登牛 補助率：1/3 ・能登牛の増産を図るための簡易牛舎等の設置に対する補助					

意欲あるふくいの畜産支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	畜産農家等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	1/3、2/3、定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	35,620				35,620							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				42,100	35,620	要望額による減額						
2月現計予算額の推移				42,100								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県内畜産生産額(億円) (目標) 実績	44	49	49	(50) 未発表	(50)	(52)	(56)	9年度 7億円増 (R3 49億円 ⇒ R9 56億円)			
活動指標	事業活用件数				(12) 12	(16)	(20)	(40)				事業活用延べ件数
	企業誘致巡回件数 (目標) 実績			2	(3) 3	(4)	(5)	(6)	企業誘致のための巡回活動実績(延べ件数)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・県内のブランド畜産物の規模拡大や自給飼料生産拡大を支援し、成果指標については目標どおり達成。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	6,480	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、各市町鳥獣害対策協議会等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助等											
補助率	国2/3・1/2・5.5/10・定額、県1/2・1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアッ:]				関連する県の計画等		[次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画]					
[解決すべき問題・課題] 人口減少や少子高齢化の進展により、農地や山林等の継続的な管理が不十分となっており、鳥獣の生息域が拡大し農作物被害が発生している。R3までは概ね右肩下がりに被害面積が減少していたものの、R4の被害面積は119haとR3の102haから大幅に増加した。このため鳥獣害対策の強化が急務となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 総被害面積 (ha) 119ha 被害面積 R3 R4 イノシシ 43.7ha 58.0ha 前年比132.7% シカ 52.0ha 55.9ha 前年比107.5%						
[事業目的] 有害鳥獣による被害を軽減するため、集落を取り獣のえさ場としない集落ぐるみの被害対策を基本として、金網柵やネット柵等の整備を支援する被害防除を推進するとともに、市町が行う有害鳥獣捕獲に対する経費への支援や県が事業主体となり鳥獣の捕獲を行う広域捕獲事業などの個体数調整、県・市町担当職員のレベルアップや集落リーダーの育成を図る体制強化など、総合的な鳥獣害対策を実施し、誰もが安心して農業を営むことのできる里づくりを推進する。												
[事業内容] ①鳥獣被害防止総合対策交付金（実施主体：各市町鳥獣害対策協議会等） ②ネット柵整備、③電気柵整備（実施主体：各市町鳥獣害対策協議会）④小規模金網柵の整備支援（実施主体：各市町鳥獣害対策協議会） ⑤侵入防止柵（金網柵、ネット柵、電気柵）の更新に対する支援（実施主体：各市町鳥獣害対策協議会） ⑥電気柵遠隔監視通報システムの運営 ⑦捕獲檻整備（実施主体：市町） ⑧有害捕獲経費の助成（実施主体：市町） ⑨指定管理鳥獣捕獲等事業の推進（イノシシ、シカ） ⑩シカ捕獲の強化（新たな捕獲技術の普及拡大） ⑪広域捕獲事業の推進（イノシシ、シカ） ⑫サル捕獲対策（悪質なサルの選択的捕獲活動）への支援（実施主体：市町等） ⑬第二種特定鳥獣管理計画、⑭特定外来生物防除実施計画の推進にかかる研修会や調査の実施 ⑮㊦獣肉の利活用の推進、⑯猟銃所持初期経費の補助、⑰㊱有害徴収捕獲隊員資質向上事業、⑱集落リーダー育成研修の開催 ⑲集落間の合意形成による鳥獣害対策実践への支援 ⑳サル対策体制強化支援事業、㉑鳥獣害対策体制強化事業												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 農作物鳥獣害防止対策推進事業 (実績) ・電気柵の整備支援 ・有害獣捕獲の経費支援 ・捕獲檻の整備支援 ・捕獲者の確保、育成				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・各市町と連携して、鳥獣被害発生集落に対する現地指導等を行い、集落ぐるみの対策を推進				他県の状況		(滋賀県) ・鳥獣被害防止総合対策交付金事業 ・指定管理鳥獣捕獲等事業（ニホンジカ） (岐阜県) ・鳥獣被害防止総合対策交付金事業 ・指定管理鳥獣捕獲等事業（イノシシ、ニホンジカ）				

鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、各市町鳥獣害対策協議会等				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助等					□ 法定受託事務						
補助率	国2/3・1/2・5.5/10・定額、県1/2・1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	620,859	493,048		(繰入) 3,473	124,338							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		588,948	598,639	580,033	546,392	620,859	金網柵の整備延長の増 イノシシの捕獲実績増による捕獲補助金の増 獣肉処理施設の支援による増					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		461,446	507,034	473,431	499,453							
決算額の推移		434,651	401,938	430,341								
前年度までの 主な増減理由		令和3年度：金網柵の整備延長による増 令和4年度：金網柵の整備延長による減 令和5年度：金網柵の整備延長の減、イノシシの捕獲実績減による捕獲補助金の減										
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	総被害面積 (ha)	(目標)	(135)	(132)	(100)	(95)	(90)	(90)	(80)			
		実績	123	102	119	集計中						
活動指標	駆除事業捕獲頭数	(目標)	(23,300)	(20,720)	(26,190)	(21,855)	(26,190)					
		実績	20,534	17,379	17,331	集計中						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
(R5年度実績)・R5総被害面積は集計中 ・侵入防止柵の整備支援：51.1km(見込み) (金網45.8km、電気4.1km、ネット1.2km) (R4年度実績)・R4総被害面積は119ha ・侵入防止柵の整備支援：46.0km (金網37.2km、電気7.4km、ネット1.4km)				・シカの捕獲強化が急務となっている。シカ捕獲研修で新たな捕獲技術の普及拡大を図り、捕獲を強化するほか、侵入防止柵の整備を支援していく。 ・イノシシにおいても目撃数・捕獲数が増加していることから、被害防止対策の周知・徹底を図っていく。 ・ジビエ用食肉加工処理施設の整備支援や有害鳥獣捕獲隊員の資質向上のための研修を行う。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

6次産業化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一			
事業主体		県、市町、農林漁業者等			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	国 定額・1/2、県 1/2・1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]			関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画 第3次ふくいの食育・地産地消推進計画]							
[解決すべき問題・課題] 県産農林水物を使用した新たな6次化商品の販売額は着実に増加している(H26:1,2億円→R4:4,6億円)。今後は、健康志向の高まりや高齢化社会の進展に対応した商品開発・販売を行っていくことが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 日本政策金融公庫における消費者動向調査 ここ4年減少していた健康を志向する人の割合がコロナウイルス感染拡大の影響で増加傾向に転じ、41.4%となった。								
[事業目的] 6次産業化に取り組む農林漁業者等と商工業者、関係機関等が連携して行う機能性表示食品、介護食品等の新しい分野での商品開発・販路開拓を支援する。														
[事業内容] 1 県内の6次産業化推進体制の整備 ○市町6次産業化推進会議等の開催 (実施主体：市町 補助率 定額) ○6次産業化サポートセンターを設置しプランナーを派遣 2 新たな需要に対応した新商品の開発支援 ○機能性表示食品、スマイルケア食の開発支援 ○一次加工品開発の推進 ○新たな需要等に対応した商品開発支援 (実施主体：市町および農林漁業者等 補助率 定額、1/2) ○加工用機械・施設整備の支援 (実施主体：農林漁業者等 補助率1/3) 3 県外への販路開拓支援 ○県外でのマーケティング・販売促進支援 (実施主体：農林漁業者等 補助率1/2)														
[受益者] 6次産業に取り組む農林漁業者						[想定される受益者数] 150事業者								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況		少額の事業については市町単独事業で対応。また、ハード整備事業は県と協働で対応するため、市町への間接補助で実施				他県の状況		○新潟県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・6次産業化はじめる・ひろげる総合支援事業 等 ○富山県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・6次産業化とやまの魅力発信事業 等 ○石川県 ・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援 ・いしかわ百万石マルシェ事業(首都圏での販売会) 等						

6次産業化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						
補助率	国 定額・1/2、県1/2・1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		23,879	32,023	119,653	12,725							
2月現計予算額の推移		9,585	20,166	64,342	3,414							
決算額の推移		8,387	18,338	62,336								
前年度までの 主な増減理由	○2年度 加工設備の整備支援（国庫ハード）の要望無し等による減 ○3年度 加工施設の整備支援（国庫ハード）等による増 ○4年度 地域食材供給施設（直売施設等）整備の支援（国庫ハード）による増											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	6次産業化による新商品の販売額（億円）	(3.8) 実績 3.6	(4.2) 4.3	(4.6) 4.6	(5.0) 4.6		(5.0)	(10.0)	農林漁業者の所得向上を目指していることから、6次産業化による新商品販売額を指標とする。 新ふくいの農業基本計画 目標 R5：5億円			
活動指標	6次産業化による新商品開発数	(229) 実績 240	(254) 262	(276) 277	(291) 296		(291)	(520)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
新商品の販売額は4.6億円にとどまったが、新商品開発数は目標を達成した。 事業見直し年度が到来したことから新規事業要求に伴い終了。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	12,725	

農遊促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体		県、農遊コンシェルジュ			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1 / 3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画 第3次ふくいの食育・地産地消推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を契機として交流人口の拡大が見込まれるが、県内農村部ではまだ人を呼び込むための基盤整備や情報発信が弱い。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2021～福井県～ 宿泊旅行の目的「各種体験(手作り、果物狩りなど)」1.2% 旅行後の来訪者の項目別評価「地元の人ホスピタリティを感じた」20%(全国45位)						
[事業目的] 県内農村での交流人口の増加を図るため、大型直売所などの拠点施設を中心に観光農園・農家レストラン・農家民宿等の農村を体感するコンテンツをつなげ農村を満喫する「農遊地域」づくりを進める。												
[事業内容] 1 農遊コンシェルジュのスキルアップ支援 ○認定後の農遊コンシェルジュ同士の視察・交流会実施 2 農遊の情報発信 ○観光地から直売所等へ観光客の誘導を図るため、モバイルスタンプラリーを実施 3 イベントや新商品開発を支援 ○大学生や農遊コンシェルジュが中心となり、農遊の目玉となるようなイベントの実施や新商品開発を支援 実施主体：農産物直売所等 補助額：補助上限800千円 補助率：1 / 3												
[受益者] 農産物直売所、農家レストラン、農家民宿等						[想定される受益者数] 150事業者						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 都市農村交流推進事業 (役割分担) 農遊体験を望む都市部住民と農遊コンシェルジュとのマッチングは都市農村交流員が担うこととする。			
市町との連携状況	【農遊コンシェルジュ育成事業】 ・コンシェルジュ候補の選定と育成講座への参加誘導 ・都市農村交流員からの最新情報をコンシェルジュ認定者に伝える役割を担う。					他県の状況			○富山県 ・県が事業主体となり田舎暮らし体験メニューを実施 ・「帰農塾」等 ○石川県 ・地域資源を活用したイベント実施や滞在メニュー開発を支援 ・里山振興ファンド等			

農遊促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県、農遊コンシェルジュ				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						
補助率	1 / 3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			13,751	17,863	10,620							
2月現計予算額の推移			10,739	10,596	6,810							
決算額の推移			9,952	9,558								
前年度までの 主な増減理由	・ イベント実施や新商品開発にかかる支援数の増加											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	交流人口の拡大(万人) (目標) 実績		(150) 113	(160) 169	(170) 集計中		(170)	(170)	H29 85万人 → R5 170万人			
活動指標	ソフト補助件数(県) (目標) 実績		(6) 5	(9) 7	(9) 7		(9)	(9)	農遊コンシェルジュが企画立案して行うイベント実施や新商品開発に対する支援			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
活動指標であるソフト補助件数(県)はおおむね目標を達成した。 交流人口の拡大については集計中である。 事業見直し年度が到来したことから新規事業要求に伴い終了。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	10,620	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

次世代へつなぐ伝統やさい支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体		営農集団等			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [2 成長を創る(産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 福井百歳やさいの生産者は、平成30年に200人を割り、近年は150人に減少している。また、販売額は増加しているものの、近年は伸び悩んでいる状況である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井百歳やさい17品目の生産者の推移 H29 211人、H30 190人、R1 173人、R2 159人、R3 159人 販売額の推移 H29 36,500千円、H30 42,500千円、R1 42,600千円、R2 42,700千円、R3 44,000千円						
[事業目的] 本県で100年以上前から栽培される「福井百歳やさい」の県内流通を促進し、販売額を増加させるため、生産者団体の活動に対する支援を行う。												
[事業内容] 県内での消費拡大のための販売活動等への支援 実施主体：営農集団等 補助率：1/2 補助内容：新たな栽培方法の実践、新たな貯蔵方法の実践												
[受益者] 「福井百歳やさい」生産者						[想定される受益者数] 157名(17品目生産者)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井百歳やさい応援事業 (実績) 平成29年から令和3年で販売額を7,500千円増					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統地場農産物等原種供給事業 (役割分担) 伝統野菜の種子の保存・供給					
市町との連携状況	・小中学校の児童生徒を対象に「百歳やさい」を使用した学校給食を提供し、食育の題材として活用 ・市町のイベント等で普及活動を実施					他県の状況						

次世代へつなぐ伝統やさい支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	営農集団等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1 / 2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			1,479	1,479	1,479							
2月現計予算額の推移			1,479	1,479	1,479							
決算額の推移			666	817								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	販売額の増加(百万円)	(目標)	(44)	(45)	(47)		(47)	(47)	対象17品目の販売額合計を令和2年度から令和5年度までに10%アップ 令和2年度販売額：42,700千円×1.1≒47,000千円(増加額：4,300千円)			
		実績	44	45	47							
活動指標	支援団体数	(目標)	(17)	(17)	(17)		(17)	(17)	福井百歳やさいを栽培する営農集団等に対する支援			
		実績	6	9	6							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
活動指標の支援団体は、目標を達成することはできなかったものの、 成果指標である対象17品目の販売額は、目標に達した。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	1,479	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

飼料用米等への転換実証事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [2 成長を創る (産業力)] 政策 [5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ]				関連する県の計画等		[新ふくいの農業基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 配合飼料の高止まりに対応するため、飼料用米等の利用推進が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・ 県内畜産農家の濃厚飼料の自給率 2.7% ・ 飼料用米等の給与量 1, 150 t (25戸/75戸)						
[事業目的] 飼料の自給率向上を目指すため、飼料用米や子実用トウモロコシの利用を後押しすることで、生産コスト低減や持続可能な畜産経営を実現する。												
[事業内容] ○飼料用米等給与実証 ・ 飼料用米や子実用トウモロコシを購入し、初めて利用する農家に対するお試し利用支援を実施。												
[受益者] 畜産農家等						[想定される受益者数] 畜産農家 73戸						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と連携して、飼料用米や子実用トウモロコシの利用を推進していく。					他県の状況						

飼料用米等への転換実証事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	佐々木康一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					1,404							
2月現計予算額の推移					1,404							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	濃厚飼料の自給率向上(%) (目標) 実績	2.3	2.7	2.7	(3) 2.1		(5)	(6)	中間目標 R6年 最終目標 R8年 飼料用米等の利用農家が増えることで自給率向上			
活動指標	飼料用米の給与量(t) (目標) 実績	989	1,150	1,150	(1,200) 867		(2,000)	(2,500)	飼料用米の給与農家25戸⇒55戸			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
事業により新規で子実用とうもろこしの給与を実施した農家が7戸あったが、一部養鶏農家の飼養羽数の減少により県内全体の飼料用米給与量は減少した。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	1,404	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		